

27 再審却下一周年糾弾 狭山異議審闘争に1万名結集

日刊 勤労千葉

81.2.11

No. 655

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五〜六・公電(国鉄)三三二七二〇七

日比谷野音埋めつくし、石川氏奪還を誓おう

勤労千葉青年部は、三月決戦ストライキ情勢の真只中で、狭山―三里塚闘争の大合流をもって、無史の部落青年石川一雄氏奪還・狭山異議審闘争勝利のために決起した。2月7日、全国から日比谷に結集した一万名の解放同盟、労組、支持共闘の仲間たちと合流し、部落解放同盟千葉県連の旗の下で、権力の弾圧と「本部」反動分子の狭山闘争破壊―「小谷謀略」もちこみを断固として粉碎して都心デモを貫徹した。

東京新関(裁判長)の異議審却下策動許すな

忘れもしない80年2月17日、東京高裁・四ッ谷裁判長は、無史の部落青年石川さんに對して「再審却下」の暴挙を行つたのである。石川さんは直ちに異議申し立てをおこない、現在異議審闘争は重大段階を迎えている。東京高裁・反動新関裁判長は「事実調べ」「証拠調べ」を行えば石川さんの無史が明白であることに恐怖して、再び、異議審却下を狙っている。

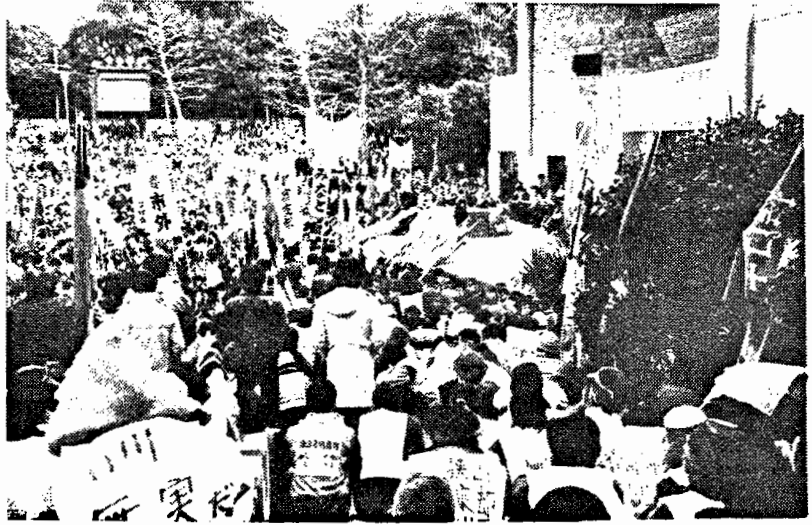
石川さんは無史だ！ 全国の仲間とともに、異議審却下策動を粉碎しよう！ 石川一雄さん奪還・再審貫徹をかちとろう！

あの憎みあまりある「再審却下」の暴挙より一年、今なお厳寒の千葉刑務所で牢い続けている石川さんにこたえるべく一万名をこえる全参加者は寒風をふき飛ばす熱気をこめ最後まで集會とデモを貫徹した。集會に寄せられた石川さんのメ

ッサージ、牢いの決意と訴えに全員が更なる決意をこめて牢いの強化を誓つたのである。

本部「反動分子の小谷謀略」もちこみを粉碎

狭山―三里塚・ジェット闘争に一貫して敵対する動労「本部」革マル反動分子は、12月銃支部臨時大会での「白紙撤回」決議と、30「デューク上げ地本再建大会」の破産でポロポロになりながら、この日も、狭山闘争破壊―「小谷謀略」運動の反動的なもちこみを狙つて会場内にもぐりこんだものの、へんげんとひろかえるゆわ鉄輪履にガククリ、その上、会場内外をゆるかす「小谷謀略もちこみで狭山に敵對する革マル弾劾！」「動労千葉三月スト支援！」の大合唱、のぼり、ビラの水にすっかり消耗し、またしても集會の終らな



いうちにあたふたと場外へ消えさるという姿をさらけ出し、全参加者のひんしゅくを買つたのである。

狭山―三里塚の大合流 いざ三月ストへ！

三里塚と勤労千葉の隊列に描しめない拍手と声援があくられ、全国から結集した一万名の熱気は、狭山―三里塚をしっかりと結合して勝利するとの路線をうけとめ大前進している事を示した。反動鈴木内閣の軍事大國化攻撃、天皇制イデオロギーを頂点とする侵略差別の攻撃、労働者人民への権利剝奪等が激化する中で、今こそ三里塚と狭山の大合流で「80年代の展望をきり拓こう」という人民の広範な声と運動が盛り上っている。勤労千葉三月ストの大爆発こそその歴史的突破口である。いざ三月スト貫徹へ

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！